

留学生と創る！！「祇園祭を支える町衆文化読本」制作プロジェクト(伝統文化継承と地域文化創成の観点から)

1 目的・概要

概要

このプロジェクトは留学生の日本語授業で使用してもらうことを最終目標とし、京都の町衆文化の代表である祇園祭をテーマに1年かけて読本を制作しました。春学期には祇園祭に携わっている方々への取材、これからプロジェクトに協力してもらう留学生の関係構築のためのイベントなど、インプット中心に行いました。7月の祇園祭シーズンでは、実際に留学生のためのツアーを行いました。秋学期にはそのインプットしたことをアウトプットし、留学生の意見をもらいながら読本制作してきました。そして留学生が主体的に考えられる読本を完成させることができました。



目的

「読本を通じて、留学生が祇園祭の伝統や課題などの多様な観点から主体的に学ぶことで、文化の違いを理解し、日本に対する関心を高めるきっかけとする。そして、この学びを日本や自国の身近な社会問題解決の一助として活用してもらうことで、社会に貢献する。」という事を目的として1年間活動しました。

Annual Schedule

2018年	4月	チームビルディング、吉井英雄さんによるお話、文化庁の方による講演
	5月	大船鉾への取材
	6月	留学生とのディスカッション 散策ツアー 長刀鉾囃子方・西村良則さんへの取材
	7月	二階囃子見学、日和神楽見学 三若神輿会への取材 前祭・後祭ツアー
	9月	八坂神社への取材 クラウドファンディングについての取材
	10月	読本作成、編集プロダクションアリカさんへの取材、 ごみゼロ大作戦についての取材、文化庁への取材
	11月	読本作成、読本を用いた模擬授業の実施
	12月	日本語学校へのプレゼンテーション、読本最終調整
2019年	1月	秋学期成果報告会



2 成果達成度

春学期

春学期に行ったこととして、一つ目はこの読本を作る目的・コンセプト決めを全員で行いました。なかなか全員の意見がまとまらず時間がかかりましたが、プロジェクトを進めていく上で、決して曲がることのないものになりました。秋学期に入ってからの本格的な読本制作を行い、悩んだり、迷ったりした時はこの目的を思い出すことで方向が見えてきたことが何度もありました。



二つ目は祇園祭についての知識を得る為に、祇園祭に関わっていらっしゃる方々への取材を行いました。その中には履修生に直接、祇園祭についてレクチャーして下さる方もいらっしゃいました。全員の祇園祭に対する理解度を同じにする為に ATSS などを使い、その都度共有していました。そうすることで、秋の読本制作はスムーズに行うことができたと思います。

三つ目はこの読本のターゲットである留学生を巻き込む為に、様々なイベントを企画したことです。まずは仲良くなることから、そして祇園祭を共に学び、体験しました。

秋学期

秋学期は、春学期に得た知識と、留学生の意見を元に読本制作を行いました。デザイン、文章、ポスター、留学生など班に分けて作業を進めました。それぞれの仕事で様々な困難があり、大変なことばかりでした。そんなこともありながら読本が完成した時にはとても嬉しかったです。読本が完成することだけが大事ではなく、チームでプロジェクトを進めていくことの難しさや大切なことを知り、また留学生とプロジェクトをきっかけに仲良くなれたことはとても良い経験になりました。この読本が日本だけでなく、世界中で活躍すると思うと、自分たちがとても誇らしく思えます。



3 プロジェクトを通じて



自分が予想してたよりもとても大変で難しいプロジェクトでした。しかし、得られるものもとても多いプロジェクトです。履修生がどのようなことで苦しみ、喜び、どのようなことをこのプロジェクトで学び、成長したかは人それぞれだと思いますが、最終的にはみんながいろいろな形で活躍することができました。リーダーを中心にそれぞれが今思っていることを授業後に

話し合ったことを鮮明に覚えています。プロジェクトは一人では達成することができず、協力しなければなりません。全員の状況を把握し、進めることがいかに大切わかりました。

また、自分たちが熱意を持って取り組めば、多くの方達が協力して下さることを改めて感じました。「祇園祭」という閉鎖的なイメージがあり、「学生など相手にしてくれないのでは」などといった不安がありました。皆さん本当に優しく、温かく、時には厳しく真剣に僕たちと向き合ってくださいました。

これから社会に出るにあたって、このプロジェクトはとても良い経験になりました。そしてこのプロジェクトを通じて出会った様々な方達、履修生のメンバーに感謝したいです。



編集後記

私たちは1年間に及び読本制作を通じて多くのことを学ぶことができました。様々な国からの留学生や祇園祭に関わっている多くの方々との出会いは、私たちにとってかけがえのないものとなりました。読本制作の過程で何度も困難に直面しましたが、携わったすべての人の思いがこもった世界で1つだけの最高の1冊が出来上がったと思います。私たちが作成したこの読本が多くの方に伝わり、社会貢献の一助となれば幸いです。

1年を通し、私たちの活動を理解し、協力していただいた全ての方々へ心より感謝申し上げます。この活動で得た多くの貴重な経験や学びをこれからの人生でも大切にしていきます。1年間本当にありがとうございました。

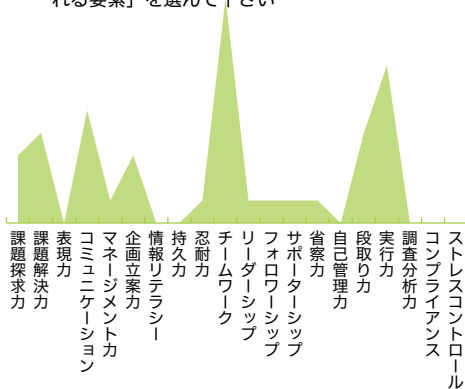
プロジェクトメンバー

岩崎 凱(経済2) 坂井 由貴(文2) 馬場 日奈子(経済2) 中山 寧々(経済2) 加藤 駿一(政策2)
田中 宏佳(法2) 村上 めぐ実(文3) 山口 真利奈(法3) 佐本 陽香(文2) 藤本 春樹(商2)
浜川 勇輝(経済3) 安 滋俊(政策2) 合田 裕一(文化情報4) 坂井 宏光(社会4) 高 瀚(SA)

プロジェクト活動 アンケート集計結果

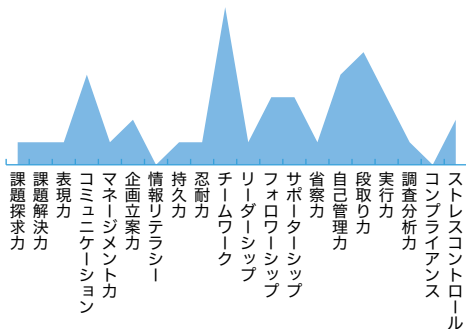
授業開始時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい

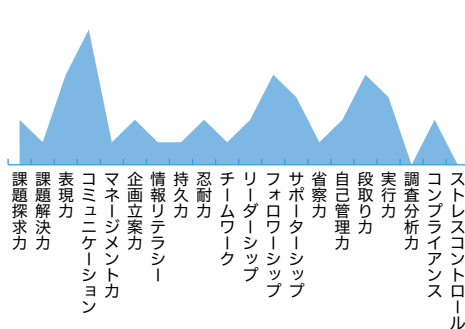


春学期終了時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい

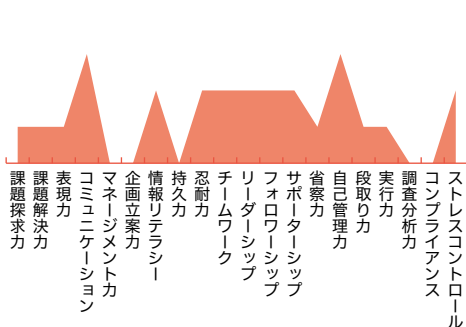


Q2 プロジェクト活動を通して実際にあなたが「身についたと思う要素」を選んで下さい



授業終了時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい



Q2 プロジェクト活動を通して実際にあなたが「身についたと思う要素」を選んで下さい

